



風景

Scene 1

思いがけずきれいな景色に出ったら、プリズム・チューブをヘルメットから外して手で持って撮ってみよう。軽量、コンパクトなので手持ちでも安定して景色を撮ることができる



走行動画

Scene 2

走行中の動画をライダー目線で撮れるのがプリズム・チューブ。バイクではなくヘルメットに付けるため、バイクの進行方向に関係なく自分の見た景色が撮れる。さらに走りながら流れる景色を見た驚きの声や、その時に思ったことをつぶやきを、そのまま映像に重ねて記録することも可能だ。このバイクで同録できる機能は、ツーリングルートで映像と声で解説したり、ベテランライダーがお手本となる走りを示しながらそのポイントを説明する、といったことにも活用できる

Scene 3

解説できる



プリズム・チューブの用途はバイクに限らない。ドローンの使い方やスポーツの動きなど道具の操作や方法を説明するのに、プリズム・チューブで撮った自分目線の映像は有効だ
※飛行場所は許可を得て撮影しています。

人気の「モトブログ」にズバリお勧めのカメラ

プリズム・チューブで撮った動画は、ただパソコンやタブレットで見るだけではない。動画投稿サイトやSNSにアップロードして、みんなに見てもらおう。走行動画の場合、カメラの内蔵マイクが拾ったエンジンや排気音の音だけでも、どうしても長時間見ていると飽きてくる。その点、マイクで自分の声も同時に記録できるプリズム・チューブなら、ツーリングルートを説明したり、飛び込んでくる美しい景色に驚く声やそのままだけでいい、走りながら撮った動画に後で声の説明をさらに入れるのは大変だ。走りながら生音が入れば、撮った動画ファイルをもそのまま動画投稿サイトにアップしても十分楽しめるコンテンツになる。なにより走りながら見た景色に反応した自分の声の方が、ユーチューブではこうした自分の声でいろいろな説明をしながら

走る「MOTOVLOG」モトブログ（モト・ビデオ・ログの略）が世界的に人気となっている。「モトブログ」のキーワードで検索してみれば、無数の面白いモトブログを見つかることができる。これまでにアップロードされている動画も、市販のアクションカムに外部マイクを取付け、風切音対策をして撮っているようだ。しかし、風切音が抑えられるプリズム・チューブは、こうした工夫も必要ない。そういう意味でも、プリズム・チューブは、モトブログを楽しむのに最適なカメラだ。

録画した動画をアップロード！



You Tube

https://www.youtube.com/
YouTubeがGoogleアカウントがあれば、誰でも動画が投稿できる。ページ右上の「アップロード」をクリックして開いたページに、動画ファイルをドラッグ&ドロップすればOK



Facebook

https://www.facebook.com/
人気のあるSNSのひとつFacebookにも動画の投稿が可能。「写真・動画を追加」をクリックして、動画ファイルを指定すればアップロードが始まる



ニコニコ動画

http://www.nicovideo.jp/
視聴者のコメントが再生画面上に流れる日本で人気の高い動画共有サービス。動画の投稿は一般会員とプレミアム会員でサービスに差があり、プレミアムの方が制限なく投稿できる



スライドスイッチを前後させることで録画の開始、停止操作ができる。スイッチは筐体を一周するリング上で、グローブをはめた手でもオンオフ状態が分かりやすく操作しやすい
カメラを前から見てなるべく水平垂直が正しくなるように調整する。円筒形のため、カメラの上下が分かりにくい。スライドスイッチの赤い突起が真上にくるようにするといい
カメラの上下方向の調整は、フレキシブルマウントの回転台を緩めて行う。あくまでもライディング時のヘルメットの角度を前提に角度を調整すること。思いのほか上向きになる

[メモリー取付け例]



マイクロSDカードは本体後部のネジ式キャップを外してスロットに着脱する。このキャップはスピーカー&マイク用USBケーブルを使う場合、専用のものに取り換えて使う

<http://senablutooth.jp/>